

若年層の自殺の状況について

平成31年～令和5年までの直近5年間の状況

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成（特別集計・発見日住居地）より大阪府が作成

- 令和4年1月に自殺統計原票が見直され、原因・動機の既存項目の選択肢が拡充。
- 令和3年までは、遺言等の生前の言動を裏付ける資料がある場合に限り、自殺者一人につき3つまで計上可能としていたが、令和4年からは、家族等の証言から考えうる場合も含め、自殺者一人につき4つまで計上可能とした。
- 交際問題（男女問題）について、令和3年までは「男女問題」、令和4年からは「交際問題」で計上している。

自殺の原因動機（大分類）

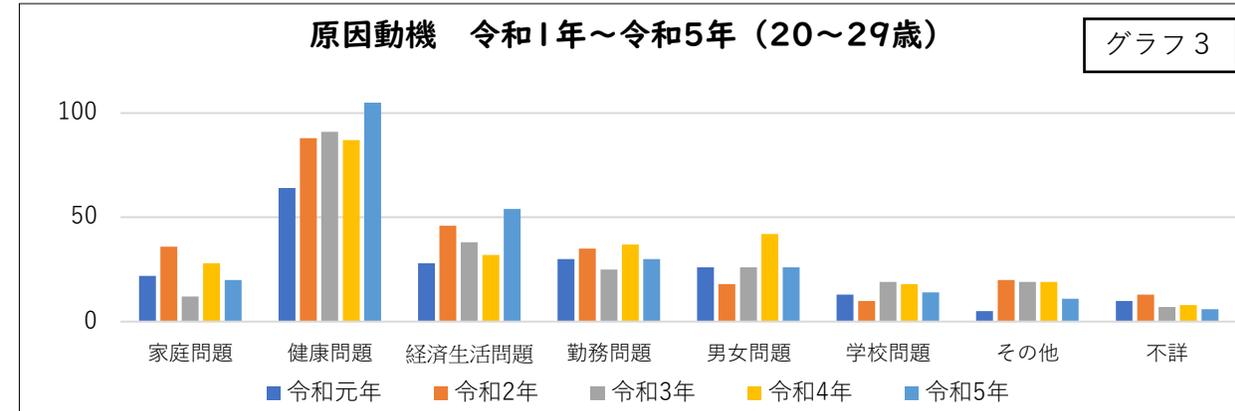
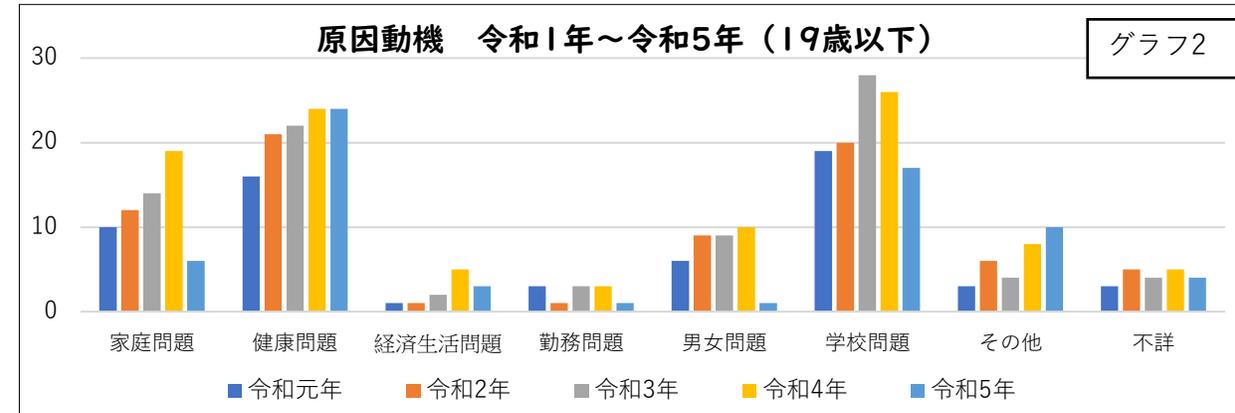
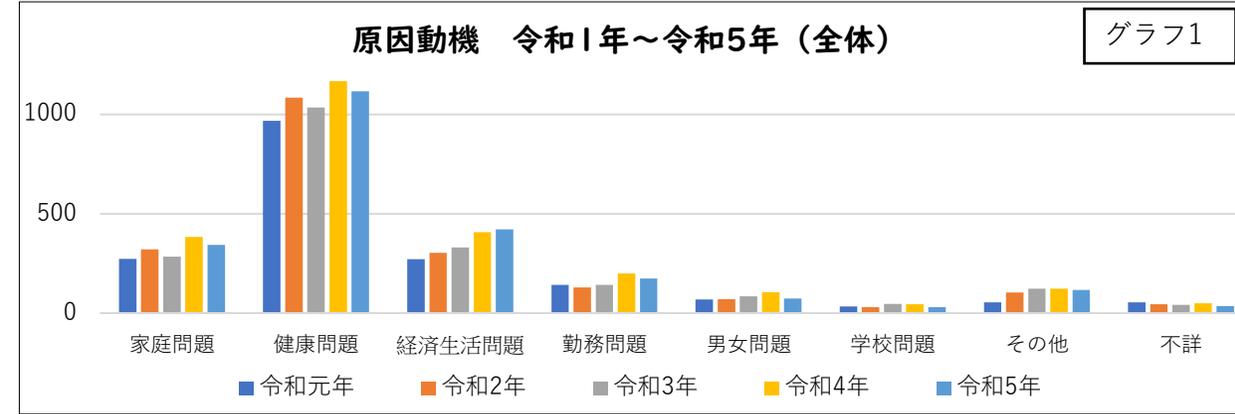
- 全世代は健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題の順となっている。
- 19歳以下は、平成31年からの3年間合計は学校問題、健康問題、家庭問題の順に多くなっており、令和4年からの2年間合計は健康問題、学校問題、家庭問題の順となっている。令和5年は令和4年に比べ、家庭問題、学校問題、交際問題が大きく減少している。
- 20～29歳は、令和1年～3年の3年間合計は、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、勤務問題の順になっており、令和4年からの2年間合計は、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、交際問題の順となっている。令和5年は令和4年に比べ、健康問題、経済問題が大きく増えた。

原因・動機（令和1～3年 3年間合計）

	～19歳	20～29歳	全世代
家庭問題	36	70	878
健康問題	59	243	3088
経済・生活問題	4	112	905
勤務問題	7	90	413
男女問題	24	70	224
学校問題	67	42	111
その他	13	44	281
不詳	12	30	140

原因・動機（令和4～5年 2年間合計）

	～19歳	20～29歳	全世代
家庭問題	25	48	728
健康問題	48	192	2285
経済・生活問題	8	86	830
勤務問題	4	67	373
交際問題	11	68	178
学校問題	43	32	75
その他	18	30	239
不詳	9	14	84



自殺の原因動機（詳細） ① 健康問題

① 健康問題

- 全世代は、令和1～3年はうつ病の悩みが最も多く、次いで身体の病気の悩みとなっている。令和4～5年はうつ病の悩みが最も多く、次いでその他の身体の病気となっている
- 19歳以下は、その他の精神疾患の悩みが最も多く、次いでうつ病の悩みとなっている。
- 20～29歳は、うつ病の悩みが最も多く、次いでその他の精神疾患の悩みとなっている。

	令和1～3年合計			令和4～5年合計		
	～19歳	20～29歳	全世代	～19歳	20～29歳	全世代
病気の悩み（身体の病気）	4	14	900	病気の悩み（悪性新生物）		125
				病気の悩み（てんかん）	3	21
				病気の悩み（その他の身体の病気）	12	475
病気の悩み・影響（うつ病）	19	107	1230	病気の悩み・影響（うつ病）	17	793
病気の悩み・影響（統合失調症）	4	31	284	病気の悩み・影響（統合失調症）	3	201
病気の悩み・影響（アルコール依存症）	0	4	70	病気の悩み・影響（アルコール依存症）	0	5
病気の悩み・影響（薬物乱用）		3	19	病気の悩み・影響（薬物乱用）	0	22
				病気の悩み・影響（摂食障害）	1	13
病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	20	70	409	病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	20	342
身体障害の悩み	3		88	身体障害の悩み		3
				認知機能低下の悩み	0	60
その他	8	13	88	その他		8

自殺の原因動機（詳細）

② 家庭問題

② 家庭問題

- 全世代は、令和1～3年は、夫婦関係の不和が最も多く、次いで家族の将来悲観となっており、令和4～5年は、夫婦関係の不和（その他）が最も多く、次いで家族の死亡となっている。
- ~19歳は、親子関係の不和が最も多く、次に家族からのしつけ・叱責となっている
- 20～29歳は、令和1～3年は親子関係の不和が最も多く、次いで夫婦関係の不和となっている。令和4～5年は、親子関係の不和が最も多く次いで家族の将来悲観となっている

	令和1～3年合計				令和4～5年合計		
	～19歳	20～29歳	全世代		～19歳	20～29歳	全世代
親子関係の不和	11	20	126	親子関係の不和	9	13	97
夫婦関係の不和	0	9	210	夫婦関係の不和（DV）	0		15
				夫婦関係の不和（不倫・浮気）	0	3	30
				夫婦関係の不和（その他の原因）	0	6	122
その他家族関係の不和	6	7	66	その他家族関係の不和		6	63
家族の死亡		6	123	家族の死亡	0		113
家族の将来悲観		7	139	家族の将来悲観		7	85
家族からのしつけ・叱責	8	5	27	家族からのしつけ・叱責	7	6	22
子育ての悩み	0	8	41	子育ての悩み	0		42
被虐待	0			家族・同居人からの身体的虐待	0	0	0
				家族・同居人からの心理的虐待	0	0	
				家族・同居人からの性的虐待	0	0	
				家族・同居人からのネグレクト	0	0	0
介護看護・疲れ	0		61	介護・看病疲れ	0	0	65
その他	8	6	84	その他	6	3	72

③ 経済・生活問題

- 全世代、20~29歳ともに、生活苦が最も多く、次いで負債（その他）となっている。

	令和1~3年合計		令和4~5年合計	
	20~29歳	全世代	20~29歳	全世代
倒産	0	3	0	4
事業不振		78		83
失業	6	81	9	63
就職失敗	15	39	13	43
生活苦	31	347	25	305
負債（多重債務）	21	121	7	94
負債（連帯保証債務）	0	3	0	3
負債（ギャンブル他）			10	57
負債（その他）	27	165	14	104
借金の取り立て苦	0	8	0	9
奨学金の返済苦			0	0
自殺による保険金支給	0	5	0	7
その他	10	55	7	58

自殺の原因動機（詳細）

④ 勤務問題

④ 勤務問題

- 全世代では、令和1～3年は仕事疲れが最も多く、次いで職場の人間関係となっており、令和4～5年は仕事疲れ（その他）が最も多く、次いで職場の人間関係（その他）となっている。
- 20～29歳では、令和1～3年は職場の人間関係が最も多く、次いで仕事疲れとなっている、令和4～5年は職場の人間関係（その他）と仕事疲れ（その他）が最も多かった。

	令和1～3年合計			令和4～5年合計	
	20～29歳	全世代		20～29歳	全世代
職場の人間関係	28	122	職場の人間関係（上司とのトラブル）	3	30
			職場の人間関係（その他）	13	73
職場環境の変化	8	38	職場環境の変化（役割・地位の変化等）	6	37
			職場環境の変化（その他）	5	32
仕事疲れ	27	125	仕事疲れ(長時間労働)	6	18
			仕事疲れ（その他）	13	84
仕事の失敗	11	61	仕事の失敗	8	36
			過重なノルマ・ノルマの不達成	0	
			解雇・雇い止め	3	11
			取引先とのトラブル		8
			性別による差別	0	0
その他	16	67	勤務問題その他	9	42

⑤ 学校問題

- 令和1～3年は、学業不振が最も多く、次いでその他進路に関する悩みとなっている。
- 令和4～5年は、19歳以下と全世代が学業不振が最も多く、次いで進路に関する悩みとなっている。20～29歳は進路に関する悩みが最も多く、次いで学業不振となっている。

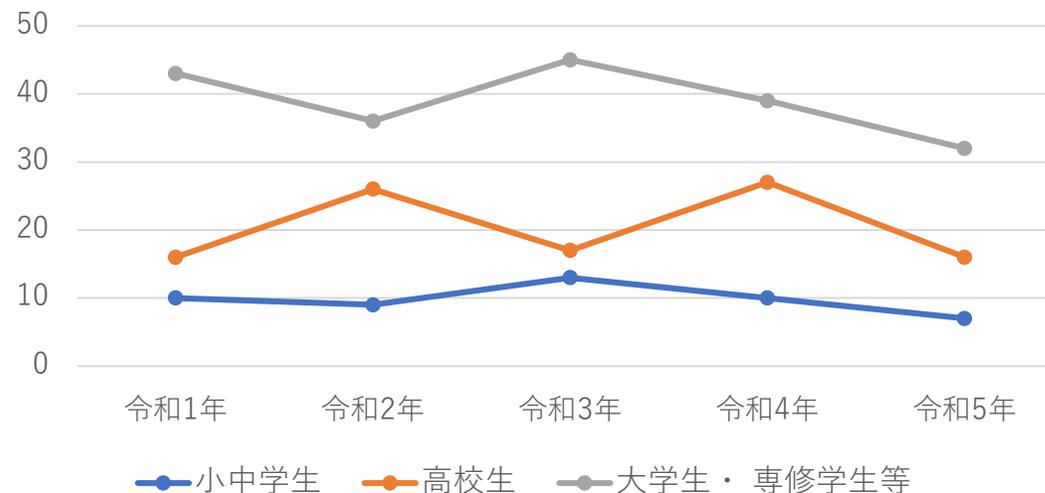
	令和1～3年合計				令和4～5年合計		
	～19歳	20～29歳	全世代		～19歳	20～29歳	全世代
入試に関する悩み	9		10	入試に関する悩み	6		7
その他進路に関する悩み	18	15	33	進路に関する悩み	11	13	24
学業不振	23	20	44	学業不振	14	12	26
教師との人間関係				教師との人間関係		0	
いじめ		0		いじめ	0		
その他学友との不和	5	4	9	学友との不和	6		8
				性別による差別	0	0	0
その他	9		11	その他	4	3	7

学生・生徒の状況

① 自殺者数の推移

- 学生・生徒等の自殺者数は、令和元年大きく増加した以降、横ばいで経過している。

	小中学生	高校生	大学生・ 専修学生等	合計
令和1年	10	16	43	69
令和2年	9	26	36	71
令和3年	13	17	45	75
令和4年	10	27	39	76
令和5年	7	16	32	55



② 令和5年の状況

- 男女比は6：4 と男性の割合が高い。
- 原因動機別にみると、学生では学校問題が最も多く、次いで健康問題であった。

令和5年 性別・学生種別 自殺者数

	小中学生	高校生	大学生・ 専修学校生等	合計
合計計	7	16	32	55
合計女	3	8	10	21
合計男	4	8	22	34

令和5年 原因動機別 自殺者数

※原因動機不詳を除く数を計上

	家庭問題	健康問題	経済・生活 問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
学生	5	23	7	0	4	31	8
全体	344	1117	442	174	73	31	116

令和5年 原因動機別 割合 (学生と全体の比較)

